

**実社会との接点を重視した課題解決型
学習プログラムに係る実践研究
成果発表会**

研究主題

**「徳島県鳴門市のまちづくりを考える」
～5年先，10年先，私たちが住み続けるまちであるために～**

徳島県立鳴門高等学校

徳島県立鳴門渦潮高等学校

徳島県立鳴門高等学校 実践研究成果報告

令和5年1月20日（金）
徳島県立鳴門高等学校
山本 義裕 久米川和輝

鳴門高校での取組

- ・令和元～2年 国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業
- ・令和3～4年 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究

これらの実践を通して…

- ① **「社会的な見方・考え方」を働かせる**，主権者教育に関わる単元構想及び評価計画の作成
- ② **教科間連携，専門家や関係諸機関との連携を組み込んだ単元構想**
- ③ **成果物の作成を通して学習の見通しと振り返りの機会を確保し**，生徒自身が自己の学びを調整できる単元構想

関係諸機関との連携を単元を構成する要素とするために…

- ◆「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム」の実践にあたり、最終目標を**鳴門市に意見書を提出すること**にゴールを設定した。
- ◆ゴールを設定し、見据えることにより、逆算的に単元計画しやすかった。
- ◆その過程に専門家による出前講座を組み込んだ。
- ◆最終成果物のイメージを持っていたことが「**出前講座を組み込んだ単元**」という意識をもてた要因。

しかし…

- ◆「その場限り感」「行き当たりばったり感」は痛感。余裕を持って指導計画、単元計画を練り、**連携諸機関と十分な打合せ**ができていれば、もっと効果的なものにできたはず。

鳴門市役所各課，鳴門市議会事務局との連携

◆ **講演→授業実践（学びの調整）→成果物の評価と活用**の3場面。

導入

◆ 総合的な探究の時間ともかかわらせて，2学年全体に「**なると未来づくり総合戦略**」について講演。（**1回目：導入に位置づけ**）

学びの調整

◆ 鳴門市議会事務局から**高校生会議**開催の依頼

→「議会や行政も若者世代と関わる機会を求めています。」とのお声かけ。

◆ その後，実践研究の対象クラスでは，**倫理の授業**において，先哲の思想を手がかりに，意見書の方向性を考えていく。

◆ 鳴門渦潮高校との交流により，相互の視点を融合。

◆ 生徒が考えた素案に対して中間アドバイスをもらう。（**2回目：学びの調整**）

評価

◆ 最終的に提出した**意見書**に対して講評してもう。高校生の意見として市政への活用を検討してもらう。（**3回目：成果物の評価，活用**）

鳴門市役所各課，鳴門市議会事務局との連携

導入

◆総合的な探究の時間ともかかわらせて，2学年全体に「**なると未来づくり総合戦略**」について講演。（**1回目：導入に位置づけ**）



鳴門市戦略企画課による
出前講座
(会議室よりリモート配信)

鳴門市役所各課，鳴門市議会事務局との連携

学びの調整

- ◆鳴門市議会事務局から**高校生会議**開催の依頼
→「議会や行政も若者世代と関わる機会を求めています。」とのお声かけ。
- ◆その後，実践研究の対象クラスでは，**倫理の授業**において，先哲の思想を手がかりに，意見書の方向性を考えていく。
- ◆鳴門渦潮高校との交流で，相互の視点を融合。
- ◆生徒が考えた素案に対して中間アドバイスをもらう。 **(2回目：学びの調整)**



鳴門市議会事務局 高校生会議



鳴門渦潮高校との連携交流



鳴門市子ども未来創造室
出前講座・指導・助言

鳴門市役所各課，鳴門市議会事務局との連携

評価

◆最終的に提出した意見書に対して講評してもらう。高校生の意見として市政への活用を検討してもらう。（3回目：成果物の評価，活用）

1月16日に鳴門市長に対して，生徒達が考えた意見書をプレゼンテーションさせていただき，講評もいただきました。

○意見書 アンケートを踏まえて

鳴門市議会に請願書を書いてみよう

- ①教育 ②福祉 ③観光 ④交通
⑤仕事 ⑥スポーツ ⑦その他()

(1)何を請願しますか？

①誰に対する支援か？ ②どのような内容か？ ③理由

① 10代，20代の若い子育て世代

② 託児所の充実
→多様な働き方や多様な家族形態に対応した託児所を整備していく。

③ 妹や弟の世話をしたり，親の様子を見ていると，やはり仕事と子育ての負担は大きいと感じたから。

④アンケート結果の何を反映したか？

意外にも，10代が子育てに関心をもっていた。

日付： 年 月 日

HRNO()NAME()

(2)期待される効果は何か？鳴門市のどのような問題が解決されるか？

ヤングケアラー対策。
ワークライフバランスの推進による少子化対策。
出生率の向上。
子育てしやすい環境は就職先としての魅力にもなる。

(3)実現可能性を高めるための方法・提案

- ・育児や介護休暇の取得促進を事業所に義務づける条例。→補助金か罰則
- 託児所職員だけに負担を押しつけない。
- ・託児施設併設の事業所に優遇措置。

(4)請願書の変更点とその理由

- ・強制力をもたせるために条例化
- ・メリットやペナルティを科すことで取組を進める。
- 人を動かしていくためには仕掛けが必要。



作成した意見書（成果物）

意見書の提出・意見交換

連携を組み込んだ単元計画

- 第 1 時 鳴門市戦略企画課による出前講座 「なると未来づくり総合戦略」 (総探)
社会契約説 「なぜ政治や国家が必要なのか」 (倫理)
- 第 2～3 時 功利主義 「よりよい社会とは？」 (倫理)
鳴門市各課による出前講座 (総探)
- 第 4 時 社会主義思想 「自由とは？ 平等とは？ 公平とは？」 (倫理)
- 第 5～6 時 人格の尊厳－カント 「普遍的な道徳とは何か？ 理想的な社会とは何か？」
(倫理)
- 第 7 時 ヘーゲルの人倫の思想 「個人の自由と社会の秩序はいかに両立すべきか」
(倫理)
- 第 8～9 時 実存主義 「社会参画の意義とは？」 (倫理)
- 第 10 時 ロールズ、センの正義論 (倫理)
「女性議員の数を強制的に増やすことの是非は？」 (倫理)

課外に設定 鳴門渦潮高校との意見交換
鳴門市企画戦略課, 子ども未来創造室による中間アドバイス
意見書の再検討
意見書の提出, 鳴門市長, 議長からの講評, 意見書の取り扱い状況の報告

実践を振り返って成果と課題

成果：生徒の成長と変容

◆生徒の成長は大いに感じた。社会や大人、同年代の高校生と関わり合うことを通して、**自信**をもって発言できるようになったり、学んだことが社会に活かせる**期待感**をもって授業に臨む生徒の姿を見ることができた。

◆実践前後のアンケート結果より、社会参画意欲の向上が見られた。

「若者の社会参加で社会は変わる」と思うようになった割合は、実践前20%→60%

社会参画の方法

自分に足りないもの

深めた自覚

- ・積極的な社会参加
・考えを伝えること
 - ・ボランティア
・魅力を知り伝えていく
 - ・もっと選挙などに参加
・社会参画の仕方
 - ・自分から行動する積極性
・政治に対しての知識
・関心・意欲・態度
 - ・行動力や発言力
・さらにその先を考える力
・足りないものを考える力
 - ・新しい課題を解決するための想像力
- ・ありのままの意見を何らかの方法で発信し、不満だけ言うのではなく具体的な意思表示をする。
・鳴門をよりよくするために高校生や若者の目線の意見をたくさん出すこと

実践を振り返って成果と課題

成果：教員の授業改善の視点から

- ◆**授業改善の視点獲得**→「単元」を意識。学びの調整としての出前講座。
- ◆**専門家との連携を組み込んだ単元計画**の作成に取り組めた。
- ◆**連携先との打合せの中から、外部講師からの授業計画に係る提案を引き出せた**ことは、情報共有の成果。
- ◆**出前講座やそれに係る打合せを通して授業に活かせる「問い」の獲得。**

実践を振り返っての成果と課題

課題

- ◆関係諸機関との日程調整等の**負担感**は大きい。
 - 連携先も学校もお互いに「敷居が高い」と感じており、連絡を躊躇、敬遠してしまいがち。
 - コーディネーター**役の存在など、より効率的で柔軟な連携の在り方の工夫について検討が必要。

- ◆課題解決学習として中身のある具体的な解決策を提示するには、やはり**専門的な知識、情報**が必要。
 - 関係諸機関と授業計画や既習事項を共有し、継続的に連携していくことが課題。生徒から出た意見（解決策）について**妥当性や実現可能性をもたせるために、必要な知識や情報、経験を獲得する場としての関係諸機関等との連携の在り方や公民科の授業改善に繋げていきたい。**

徳島県立鳴門渦潮高等学校 実践研究成果報告

令和5年1月20日（金）
徳島県立鳴門渦潮高等学校
猪上 翔太

鳴門渦潮高校での取組

- ① 「開かれた学校」をめざし、地域と連携し、専門家や関係諸機関などと積極的な交流
- ② 「社会的な見方・考え方」を学びの中で深められる単元構想及び教材の工夫
- ③ 生徒が積極的に議論する中で多面的・多角的に考察したり、構想したりする場面の設定

研究指定クラス 3 1 HR 【スポーツ科学科】

【専攻実技種目】

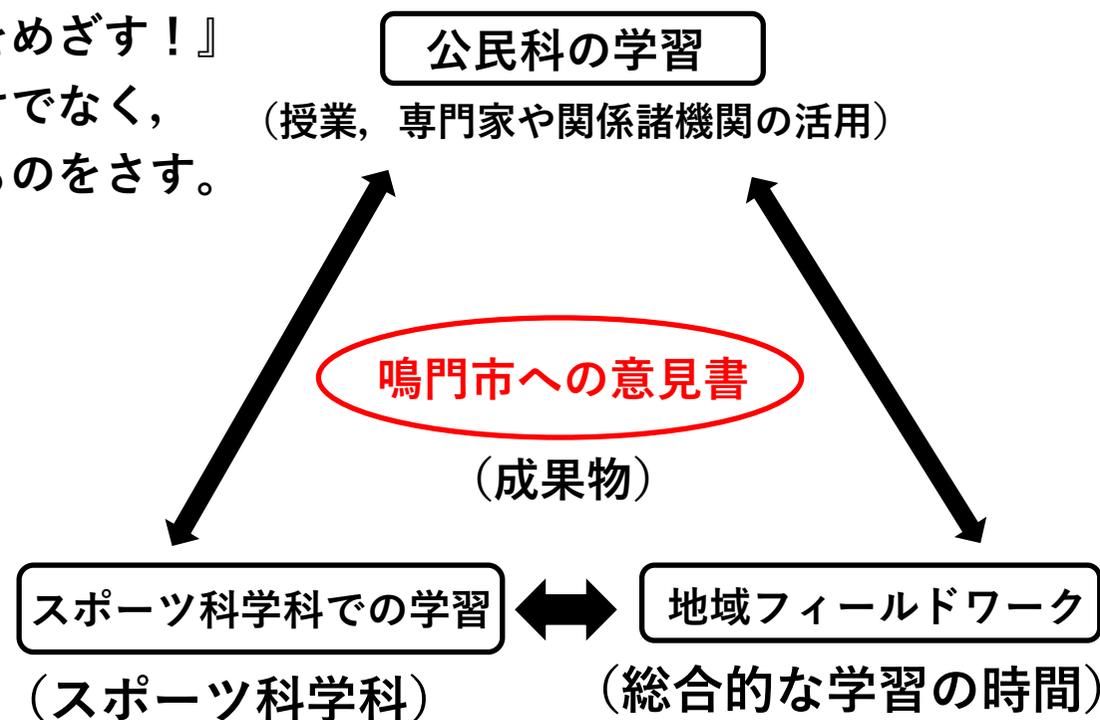
硬式野球部 柔道部 剣道部 陸上部 男子バスケットボール部 女子サッカー部 女子ラグビー部

【スポーツ科学科の目標】

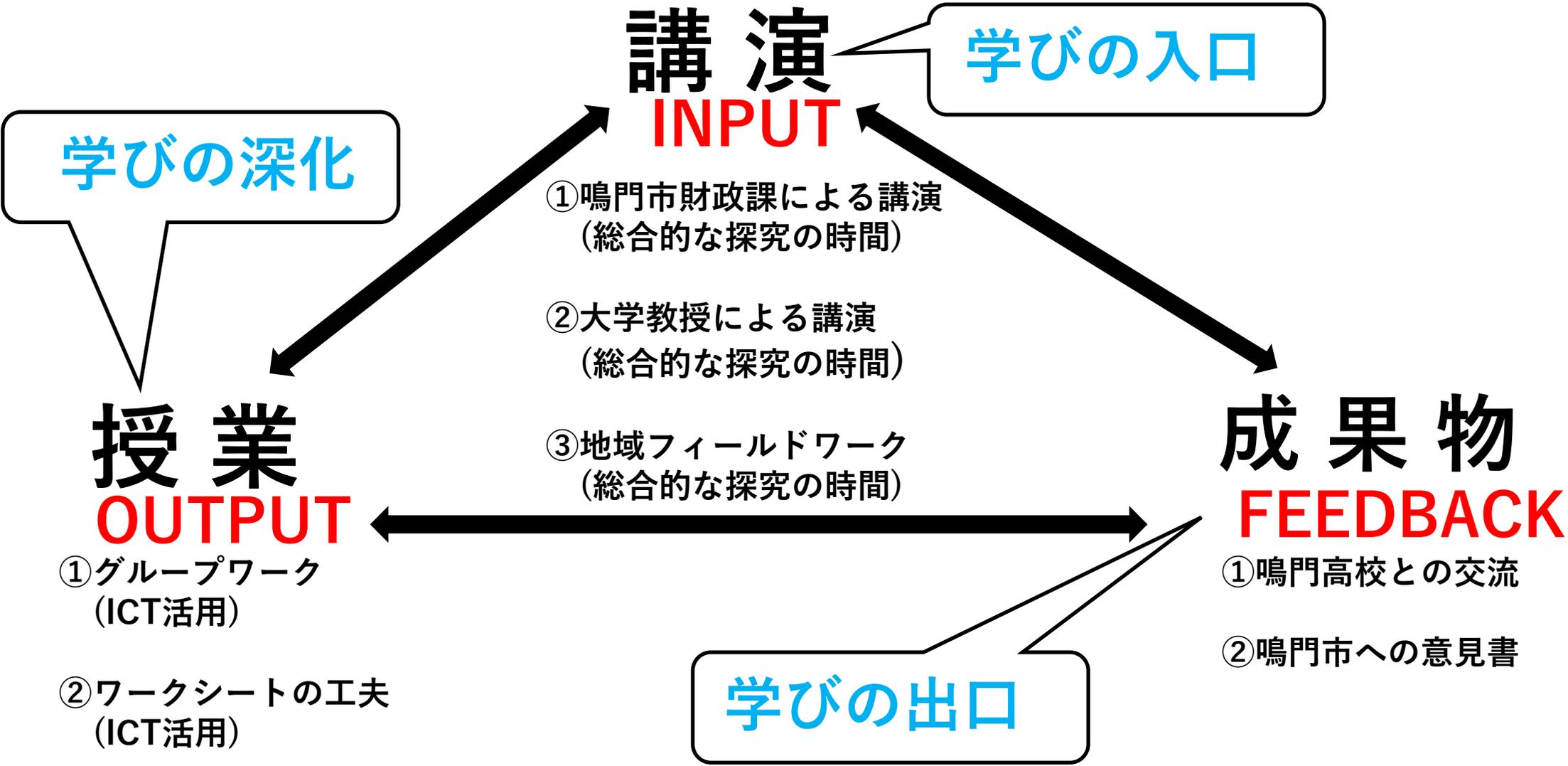
『高度な専門技術や知識を有する**トップアスリート**をめざす！』
スポーツについての専門的な実践力を身につけるだけでなく、
市民性や国際性を兼ね備えた豊かな心を身につけたものをさす。

【課題解決型学習プログラム】

社会や地域の現状を**知る**ことで、
スポーツ科学科で学んできた**強み**を
課題解決にどのように活かせるか考
えるきっかけとする。



公民科の学習の流れ(授業・外部人材の活用)



＜高等学校・3年生＞ 公民科（政治・経済）

【単元名】民主政治の基本原則（ 大項目(1) ア ）

【主な単元の目標】地域の課題解決に主体的に取り組む意識を高める。

【学習課題】「5年先，10年先の鳴門市の未来につながる提案はどのようなものか。」

時間	主な学習内容	
	公民科（政治・経済）	関連付けた他教科等
1	鳴門市の財政の現状と課題	外部講師による授業
2	鳴門市の現状と課題	総合的な探究の時間 (地元企業・団体を訪問)
3	地方自治制度	
4	住民の権利(1)	
5	住民の権利(2)	
6/7	政党政治と選挙制度	
8	民主政治における世論の役割	

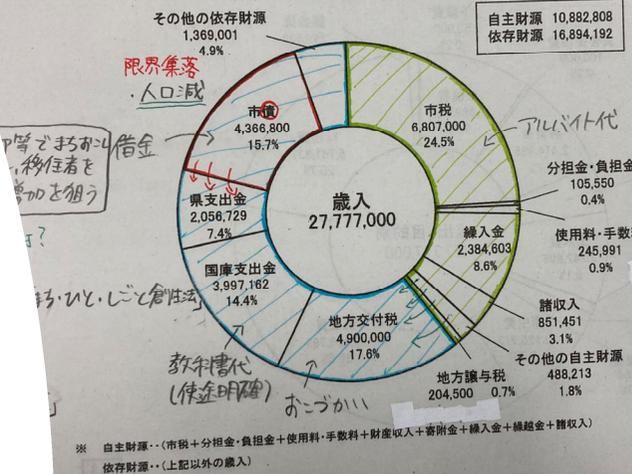


外部人材の活用 ～鳴門市財政課による講演～

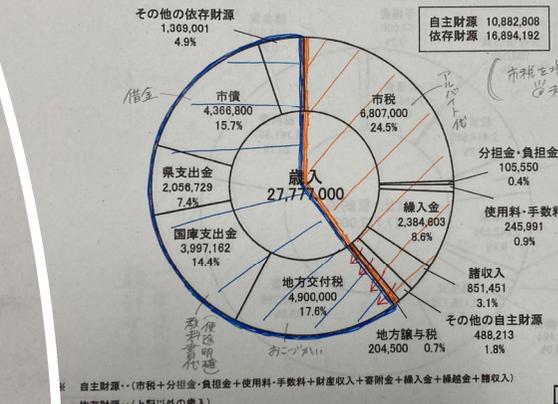
鳴門市からいただいた資料に基づいて財政状況を把握



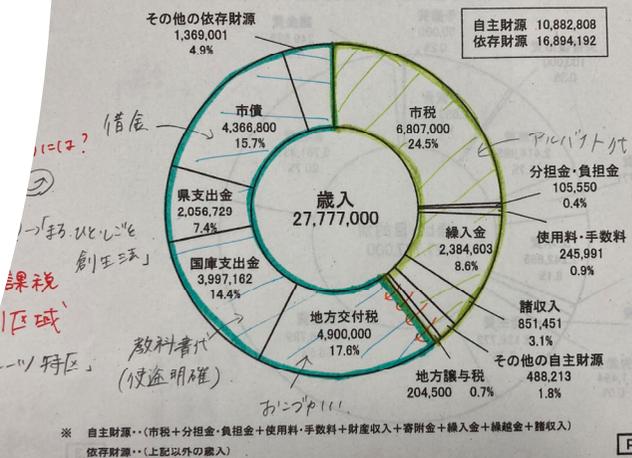
資料1 令和4年度一般会計当初予算 (単位:千円)



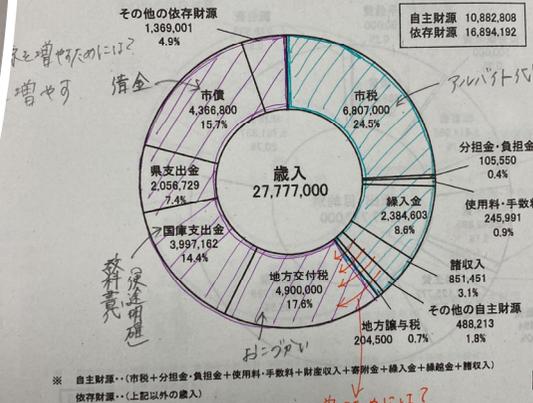
資料1 令和4年度一般会計当初予算 (単位:千円)



令和4年度一般会計当初予算 (単位:千円)



令和4年度一般会計当初予算 (単位:千円)



【部活動】
硬式野球部 柔道部 剣道部 陸上部
男子バスケットボール部 女子サッカー部 女子ラグビー部

【学習内容】
『高度な専門技術や知識を有するトップアスリートをめざす！』
トップアスリートとは、スポーツについての専門的な実践力を身につける
だけでなく、市民性や国際性を兼ね備えた豊かな心をつけた者をめざす。

【課題解決学習プログラム】
社会や地域の現状を知ることで、私たちが学んできた強みを課題解決に
どのように活かせるか考えるきっかけとなった。

鳴門高校との 交流会



地域フィールドワーク (U'z地域塾) 【総合的な探究の時間】

株式会社
ひかりや



フルーツガーデン
やまがた①



アオアオ
ナルトリゾート



本家
松浦酒造



とくしま
コウノトリ基金



フルーツガーデン
やまがた②



足を運んで得た情報(活きた地域の声)をもとに，鳴門の課題を解決する！
U'z 地域塾は，課題を解決していくための知恵を得る場所！



募集
Recruit

高校生がまちづくりについて学んでいます！ 「鳴門市のまちづくりについてのアンケート」への回答にご協力を

☎ 戦略企画課 ☎684・1622

鳴門高校と鳴門渦潮高校では、生徒が公民科の授業を通して、「鳴門市のよりよい未来」について考え、構想しています。ぜひ右記二次元コードからアンケートにご回答いただき、市民の皆さんの「鳴門市のよりよい未来」についてのご意見をお聴かせください。



鳴門高校の2年生です。私たちは倫理の授業の中で、社会の在り方や政治の在り方について学びながら、鳴門市のまちづくりについて考えています。自然や文化に恵まれた鳴門市の課題を解消していくためには、皆様のご意見が必要不可欠です！どんなささいなことでも構いませんので、市民の皆さんのお声を聴かせていただけないでしょうか？多くの方々のアンケートへの回答をお待ちしています！



鳴門渦潮高校スポーツ科学科の3年生です。いつも私たちが本気で夢に挑戦できる環境を整えてくださり、ありがとうございます。現在私たちは、鳴門高校さんと共に、授業で学んだことを鳴門の未来に生かしていく取り組みを行っています。鳴門市民の皆さんの意見を参考に、鳴門市についての学びを進めていきたいと考えていますので、ぜひとも貴重なご意見をいただけたらと思います！



アンケートによる地域の実情把握、**徳島新聞と鳴門市の広報誌に掲載していただきました！**



グループワーク の様子



成果物

鳴門高校との交流



学びの調整

鳴門市への意見書

新提案



「鳴門市 観光ガイドマップ」より掲載

車輪と渦巻く鳴門の魅力・車輪でつなぐ家族の絆
～サイクリングツーリズム～・～親子サイクリングロード～

【ルート】

- ① 鳴門海峡大橋
- ② 土佐泊
- ③ 撫養街道
- ④ 道の駅
「くるくるなると」
- ⑤ 大谷焼の里
- ⑥ ドイツ館
- ⑦ 一番札所「靈山寺」

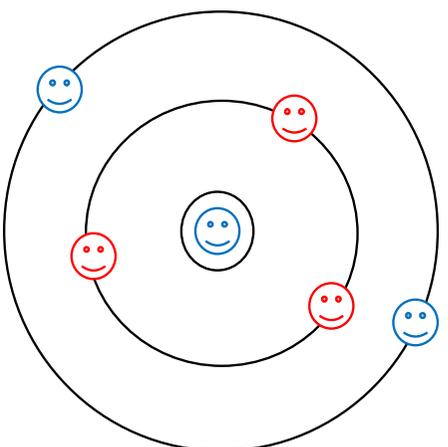
成果物

鳴門高校との交流 **→** 鳴門市への意見書
学びの調整



旧提案

新スポーツを開発して、新スポーツの聖地NARUTOへ
『リズムに乗って、U'zを舞う♪～ハートを燃やせ～』



【ルール説明】
1チーム3人で構成。制限時間内に味方に何度パスできるかを競う。左図の場合、青がAT(攻撃) 赤がDF(防御)
第九の1章が流れる間、中心円の選手がボールを持ち、外円の2人の味方が、2重円の防御を交わしながらボールを受ける。パスの1往復を1点と換算し、得点を競う。
第九の1章が終わると攻守交代する。ノーサイド(試合終了)になれば、相手味方関係なく、6人でハートを作る。

新提案

車輪と渦巻く鳴門の魅力・車輪でつなぐ家族の絆
～サイクリングツーリズム～・～親子サイクリングロード～



【ルート】
① 鳴門海峡大橋
② 土佐泊
③ 撫養街道
④ 道の駅
「くるくるなると」
⑤ 大谷焼の里
⑥ ドイツ館
⑦ 一番札所「霊山寺」

「鳴門市 観光ガイドマップ」より掲載

評価について Microsoft teamsを積極活用

授業前（4月）

1. あなたは身近な地域のことについて興味・関心は高いですか。(0 点数)

詳細

とても高い	3
やや高い	7
少し高い	8
あまり高くない	11



2. 主権者として、社会に参画する意識は高いですか。(0 点数)

詳細

高い	4
やや高い	8
少し高くない	4
あまり高くない	13



2回答者 (7%) この質問に 税金回答しました。



授業後（1月）

1. あなたは身近な地域のことについて興味・関心は高いですか。(0 点数)

詳細

高い	6
やや高い	16
少し高い	3
あまり高くない	3



2. 主権者として、社会に参画する意識は高いですか。(0 点数)

詳細

高い	6
やや高い	9
少し高い	9
あまり高くない	4



4回答者 (15%) この質問に 地域回答しました。



実践を振り返っての成果と今後の取組

成果

学びのインタラクション(相互関係性)を獲得

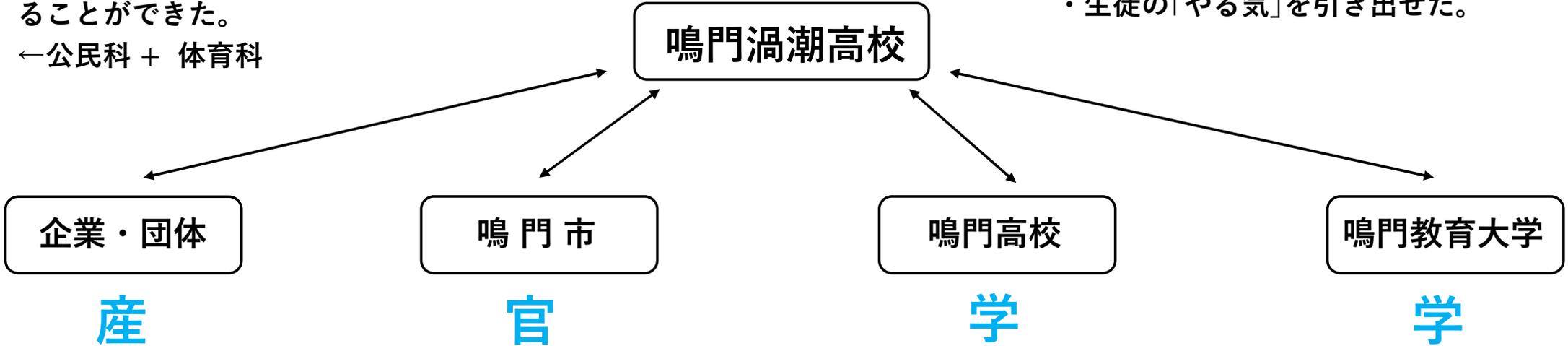
- ・学んだ知識を基に出来事を考えることができた。
←主体性・関心度
- ・教科横断的な学びの基礎を確立することができた。
←公民科 + 体育科

「学びに向かう力」の創造

- ・生徒自ら「問い」を設定し、主体的に考察することができた。
「分からないことが増えた」
- ・生徒の「傾聴力」を深まった。

社会に「開かれた学校づくり」の推進

- ・地域に学校への興味・関心を持ってもらえるようになった。
- ・学びにおける「自信」をつけることができた。
- ・生徒の「やる気」を引き出した。



今後の取組

- ① さらになる**専門家・関係諸機関**との連携強化
- ② 学校内での**教職員・教科間**の連携強化
- ③ 実践成果の**共有と発信**